



## 迷惑メールフィルターの設定

迷惑メールフィルターは、有料オプションサービス『メールウィルス駆除EX』をご契約いただいているドメインで利用できる迷惑メール対策機能です。

ご利用ドメインのメールアドレス宛てに送られてくる迷惑メールと通常のメールをメールサーバー上で判定しますので、迷惑メールを極力受信せずに済むようにできます。

### ！ ご注意

- 迷惑メールフィルターは、有料オプションサービス『メールウィルス駆除EX』をご契約されてるドメインでのみ機能します。
- 迷惑メールフィルター機能は、迷惑メールか通常メールかを判定し、その結果メールソフトで迷惑メールを極力受信しないようにすることを目的としておりますので、受信メールにのみフィルター機能が働きます。
- 本サービスですべてのメールについて必ず正しい判定ができることは保証できませんのでご了承ください。
- メール の 到達 ・ 経路 についてはサポートしておりません。
- メールソフトの詳しい設定・操作方法に関してのサポートは行っておりません。各ソフトのマニュアルまたはメーカーにお問い合わせください。

## <もくじ>

迷惑メールフィルターについて .....	3
▼アドミニストレータ（管理者）によるユーザー情報の設定 .....	4
1. 基本設定 .....	4
1-1. 迷惑メールフィルターを使用する / 停止する .....	4
1-2. おまかせフィルターの設定を変更する .....	6
1-3. 迷惑メールの処理について .....	8
1-4. 安全リストについて.....	10
2. 学習型フィルター.....	12
2-1. 学習型フィルターについて .....	12
2-2. 学習型フィルターを設定する.....	13
▼ユーザーによる設定 .....	17
3. 基本設定 .....	17
3-1. 迷惑メールフィルターを使用する / 停止する .....	17
3-2. おまかせフィルターの設定を変更する .....	19
3-3. 迷惑メールの処理について .....	21
3-4. 安全リストについて.....	23
4. 学習型フィルター.....	25
4-1. 学習型フィルターについて .....	25
4-2. 学習型フィルターを設定する.....	26
付録 メール保存方法について .....	30
サポートインフォメーション .....	33

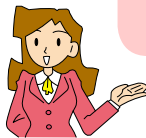
## 迷惑メールフィルターについて

迷惑メールフィルターは、受信メールがメールサーバーに届いた時点で、迷惑メールなのか通常メールなのかを、判定する機能です。  
届いたメールに対し定めたルールが機能することで、迷惑メールか通常メールかを判定します。

迷惑メールか通常メールかを判定するフィルターは、2種類あります。

### ◆ おまかせフィルター ◆◆◆

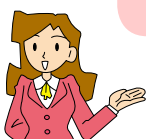
弊社であらかじめ設定しているルールに基づいて、迷惑メールか通常メールかを判定します。  
『メールウィルス駆除 EX』をご契約になっているドメインのメールには、初期設定されています。  
フィルタリングの強度は基本設定画面内で設定できますが、初期状態で「標準の判定強度（中レベル）」に設定されています。



おまかせフィルターの設定については、  
管理者の方は「1-2. おまかせフィルターの設定を変更する」（6ページ）を、  
ユーザーの方は「3-2. おまかせフィルターの設定を変更する」（19ページ）を  
ご参照ください。

### ◆ 学習型フィルター ◆◆◆

おまかせフィルターでは物足りない場合や、より高度な設定を行う場合に利用してください。  
専門的な知識が必要な上級者向けの機能です。  
学習型フィルターは、メールのパターンや特徴を覚えさせれば覚えさせるほど迷惑メールか否かの判別精度があがる「ベイジアンフィルター（学習型フィルター）」を採用しています。  
過去に受信したメールを分析し、その結果から判定を行います。



学習型フィルターの設定については、  
管理者の方は「2-1. 学習型フィルターを設定する」（13ページ）を、  
ユーザーの方は「4-1. 学習型フィルターを設定する」（26ページ）を  
ご参照ください。



『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』はそれぞれ独立した動作を行うので、どちらか一方のみを使用することも、両方使用することも可能です。詳細は、「学習型フィルターについて」（管理者の方は12ページを、ユーザーの方は25ページ）をご参照ください。

## ■ アドミニストレータ（管理者）によるユーザー情報の設定

### 1. 基本設定

#### 1-1. 迷惑メールフィルターを使用する / 停止する

有料オプションサービス『メールウィルス駆除 EX』をご契約されているドメインのメールは、迷惑メールフィルターは初期状態で『おまかせフィルター』が「使用する」設定となっています。使用を停止したい場合や、再度使用する場合は、以下の設定をします。

1. メールアカウントコントロールパネルメニュー『迷惑メールフィルターの設定』の **実行** をクリックします。
2. 「迷惑メールフィルタの設定を変更するユーザーの選択」が表示されます。

(1) 迷惑メールフィルターを設定したいユーザーアカウントをクリックします。

- メール管理者が作成したアカウントが表示されます。作成されたアカウントが一つもないと、何も表示されません。
- 全てのユーザーアカウントに対して一括で設定したい場合は、「(all users)」を選択します。

(2) クリックします。

**「(all users)」を指定すると、個々のユーザーアカウントに「安全リスト」(10 ページ) や処理についての設定をしていた場合もそれらの情報は全て消えて、一括で上書きされてしまいます。**  
 迷惑メールフィルターは、常に最新の設定内容で動作します。十分ご注意ください。

**ご注意!**



3. 「基本設定」画面が表示されます。

(1) おまかせフィルタの初期設定では【中】にチェックが入っています。使用を停止する場合は、【無】にチェックを入れます。

- 通常は【中】でご利用ください。強度レベルについての詳細は、「おまかせフィルタの設定を変更する」(6ページ)をご参照ください。

基本設定 (all users)

警告！一括設定モードです。全ての有効なアカウントの迷惑メールフィルタを現在のアカウントの設定に関わらず一括で以下の設定に変更します。処理と安全リストも一括設定の対象です

おまかせフィルタ		
<input type="radio"/>	無	おまかせフィルタを利用しない
<input type="radio"/>	弱	判定を弱めにする
<input checked="" type="radio"/>	中	標準の判定強度にする [初期値]
<input type="radio"/>	強	判定を強めにする

設定      リセット

(2) クリックします。

**迷惑メールフィルタの利用を停止する場合は、以下の2つの設定が必要です。**

- ・上記のおまかせフィルタの設定を「無」にする
- ・『学習型フィルタ』を「利用しない」設定にする  
(※ 学習型フィルタは初期設定では「利用しない」になっています)

詳細は「学習型フィルタを設定する」(13ページ)をご参照ください。

**ご注意!**



4. 設定が完了しました。

## 1-2. おまかせフィルターの設定を変更する

迷惑メールフィルターは、初期状態では「標準の判定強度（中レベル）」で設定されています。通常はこのまま「中」で利用できますが、迷惑メールとして判定されないでフィルターをすり抜けてくるメールが多い場合や、迷惑メールではないのに迷惑メールとして判定されるメールが多すぎる、などという場合には 強度レベルを変更してご利用ください。

1. メールアカウントコントロールパネルメニュー『迷惑メールフィルターの設定』の **実行** をクリックします。

2. 「迷惑メールフィルタの設定を変更するユーザーの選択」が表示されます。

メールアカウント編集サービス  
迷惑メールフィルターの設定

迷惑メールフィルタの設定を変更するユーザーの選

suzuki  
yamamoto  
(all users)

基本設定

学習型フィルター

(1) 迷惑メールフィルターを設定したいユーザーアカウントをクリックします。

- メール管理者が作成したアカウントが表示されます。作成されたアカウントが一つもないと、何も表示されません。
- 全てのユーザーアカウントに対して一括で設定したい場合は「(all users)」を選択します。

(2) クリックします。

**ご注意!**

「(all users)」を指定すると、個々のユーザーアカウントに「安全リスト」(10 ページ) や処理についての設定をしていた場合もそれらの情報は全て消えて、一括で上書きされてしまいます。

迷惑メールフィルターは、常に最新の設定内容で動作します。十分ご注意ください。



▶▶▶ 次ページへ

3. 「基本設定」画面が表示されます。

(1) おまかせフィルタの初期設定では【中】にチェックが入っています。用途に応じて設定を変更します。

**基本設定 (all users)**

**警告！** 一括設定モードです。全ての有効なアカウントの迷惑メールフィルタを現在のアカウントの設定に関わらず一括で以下の設定に変更します。処理と安全リストも一括設定の対象です。

おまかせフィルター		
<input type="radio"/>	無	おまかせフィルターを利用しない
<input type="radio"/>	弱	判定を弱めにする
<input checked="" type="radio"/>	中	標準の判定強度にする [初期値]
<input type="radio"/>	強	判定を強めにする

(2) クリックします。



**判定強度レベルについて**

※ 画面内のヘルプもあわせてご参照ください。

**【無】** おまかせフィルターを利用しない場合にチェックを入れます。

**【弱】** 弊社にて設定している判定を弱めにします。  
迷惑メールではないのに迷惑メールとして判定されるメールが多すぎる、などという場合に指定します。

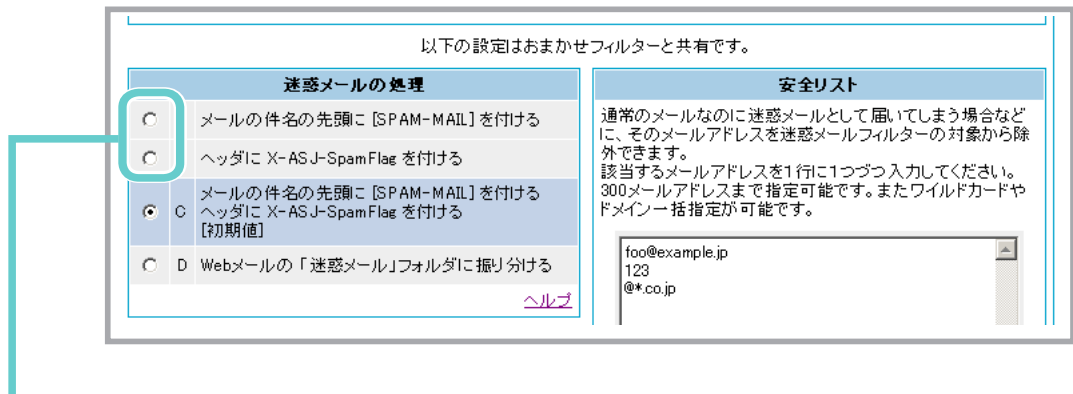
**【中】** 弊社にて設定している、標準レベルの強度です。

**【強】** 迷惑メールとして判定されないでフィルターをすり抜けてくるメールが多いと感じた場合に指定します。  
※ この設定にすると、ダイレクトメールなどの通常メールが迷惑メールであると認識される確率が高くなります。

4. 設定が完了しました。

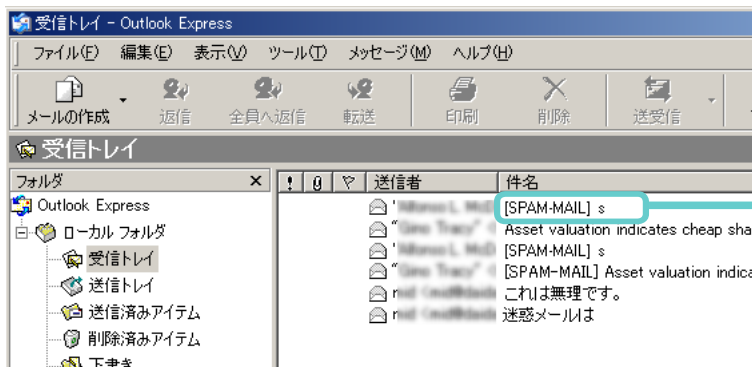
## 1-3. 迷惑メールの処理について

フィルターにより迷惑メールと判定されたメールの処理方法を設定します。  
 迷惑メールと判定されたメールの件名やヘッダーに自動的に文字列がつくので、メールソフトでフォルダに振りわけの際にご利用になれます。  
 この設定内容は『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』で共有します。どちらの画面で設定しても同じ内容で機能します。



### 【メールの件名の先頭に [SPAM-MAIL] を付ける】

メールのタイトル (Subject、件名) の最初に [SPAM-MAIL] の文字列が追加されます。  
 メールソフトでフォルダに振り分ける際にご利用ください。



【SPAM-MAIL】の文字列が自動的に入ります。

### 【ヘッダーに X-ASJ-SpamFlag を付ける】

メールのヘッダー情報に X-ASJ-SpamFlag が挿入されます。  
 メールソフトでフォルダに振り分ける際にご利用ください。  
 受信メールが迷惑メールであれば「Yes」、そうでなければ「No」が付きます。  
 【メールの件名の先頭に [SPAM-MAIL] を付ける】より振り分け精度は高くなります。  
 ※ ご利用のメールソフトがヘッダーによる振り分けに対応している必要があります。

X-ASJ-SpamFlag: Yes

このような文字列がヘッダーに自動的に入ります。

以下の設定はおまかせフィルターと共有です。

迷惑メールの処理		安全リスト
<input type="radio"/>	A メールの名目の先頭に [SPAM-MAIL] を付ける	通常のメールなのに迷惑メールとして届いてしまう場合などに、そのメールアドレスを迷惑メールフィルターの対象から除外できます。 該当するメールアドレスを1行に1つずつ入力してください。 300メールアドレスまで指定可能です。またワイルドカードやドメイン一括指定が可能です。
<input type="radio"/>	B ヘッダに X-ASJ-SpamFlag を付ける	
<input checked="" type="radio"/>	メールの名目の先頭に [SPAM-MAIL] を付ける ヘッダに X-ASJ-SpamFlag を付ける [初期値]	
<input type="radio"/>	Webメールの「迷惑メール」フォルダに振り分ける	

foo@example.jp  
 123  
 @\*.co.jp

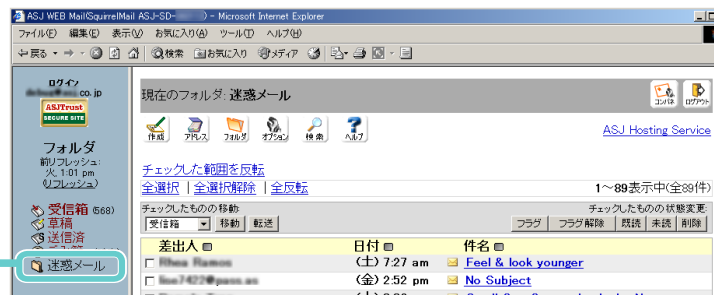
**【メールの名目の先頭に [SPAM-MAIL] を付ける ヘッダに X-ASJ-SpamFlag を付ける】**

メールのタイトル (Subject、件名) の最初に [SPAM-MAIL] の文字列が追加され、かつメールのヘッダー情報に X-ASJ-SpamFlag が挿入されます。  
 ヘッダー情報に受信メールが迷惑メールであれば「Yes」、そうでなければ「No」が付きます。  
 メールソフトでフォルダに振り分ける際にご利用ください。  
 ※ ご利用のメールソフトがヘッダーによる振り分けに対応している必要があります。

**【Webメールの「迷惑メールフォルダ」に振り分ける】**

弊社提供の Web メール「迷惑メールフォルダ」に自動的に振り分けます。

迷惑メールは迷惑メールフォルダに自動的に入ります。



- ※ 「迷惑メール」フォルダは、迷惑メールを受信した時点で自動的に作られます。
- 既に「迷惑メール」というフォルダをご自身で作成した場合は、そのフォルダに迷惑メールが入ります。
- \* 「迷惑メール」フォルダは自動的に作られるものなので、サブフォルダには置かないでください。
- ※ 件名やヘッダーには何も追加されません。
- ※ 迷惑メールフォルダ内のメールは 14 日を過ぎると自動的に削除されます。
- ※ HotBiz-OP や HotBiz-mini の Web メールは、この対象となっております。

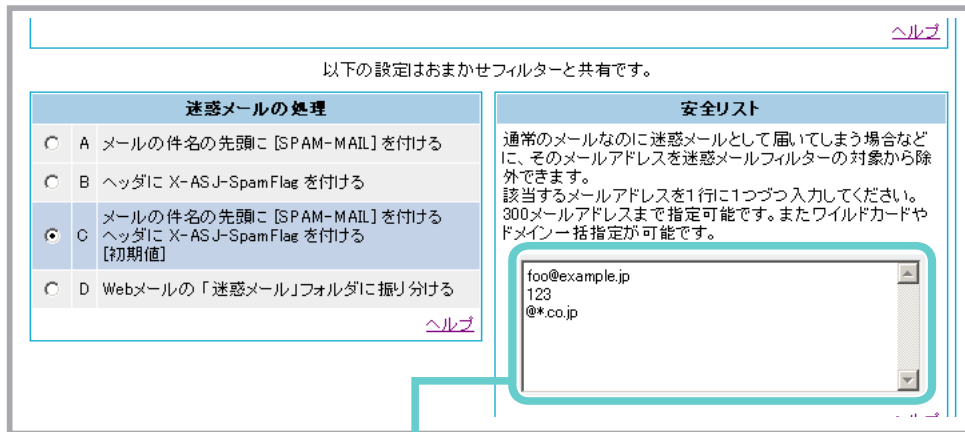


メールソフトでの振り分け方法については、オンラインマニュアル「Outlook Express6 メール振り分け設定方法」をご参照ください。

## 1-4. 安全リストについて

通常メールなのに迷惑メールとして届いてしまう場合など、通常メール扱いにしたいメールアドレスを迷惑メールフィルターの対象から除外する設定が可能です。

この設定内容は『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』で共有します。どちらの画面で設定しても同じ内容で機能します。



該当するメールアドレスを1行に1つずつ入力してください。

### <記述例>

- foo@example.jp : foo@example.jp や 123foo@example.jp などのメールを通常メールと認識します。
- foo : メールアドレス に foo の文字列があれば、通常メールと認識します。
- @example.jp : example.jp のドメイン名のメールを全て通常メールと認識します。
- foo\*bar : foo123bar や foozzbar など、メールアドレス foo と bar が含まれるメールを通常メールと認識します。
- @\*.jp : 最後が .jp で終わる のメールアドレスを通常メールと認識します。
- ???@example : @ の前が 3 文字のメールアドレスで、かつ @example.jp @example.co.jp や @example.com @example.org などを通常メールと認識します。
- =foo@example.jp : foo@example.jp のメールアドレスに完全に一致するもののみ通常メールと認識します。

- 最大 300 メールアドレスまで登録することができます。
- ワイルドカード (\*, ?) やドメイン一括指定 (@で始まるアドレスでの登録) が可能です。フィルターは、From: ヘッダ および Return-Path ヘッダをチェックし、合致すれば安全リストに登録されているアドレスであると認識して迷惑メールリストから除外します。この際、文字列の大文字小文字は区別しません。

メールアドレスを詐称して送られてくる迷惑メールなどがあるので、安全リストに自ドメインやフリーメールなどの詐称されやすいメールアドレスを登録すると精度が著しく落ちる場合があります。

**ご注意!**





### 誤判定について

『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』は、統計や推定を利用した判定であるため、誤動作はどうしても避けられません。誤判定は二つに分けられます。

#### <すり抜け>

迷惑メールなのに通常メールであると判定されて通ってくるメールです。『学習型フィルター』を利用している場合、学習をご自身ですすめていけば、それらに見合う判定をすることが出来るようになります。

#### <疑陽性>

通常メールなのに迷惑メールとして判定されてしまうメールです。この場合、安全リストで対処してください。この安全リストに登録されているメールアドレスからのメールは『おまかせフィルター』も『学習型フィルター』も判定を行いません。『学習型フィルター』では学習をご自身ですすめていけば、それらに見合う判定をすることが出来ますので、安全リストと併用して調整してください。

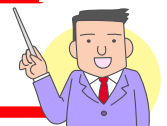
## 2. 学習型フィルター

### 2-1. 学習型フィルターについて

『おまかせフィルター』よりも高度な対策を行いたい場合は、『学習型フィルター』をご利用ください。

**ご注意！**

学習型フィルターは、専門的な知識が必要となる上級者向けの機能です。



#### ◆ 特徴 ◆◆◆

- 『学習型フィルター』は「ベイジアンフィルター」と呼ばれている機能で、パターンデータを利用して文面から推測して迷惑メールを判定します。  
初期設定時には弊社から提供している状態のパターンデータにて動作しますが、このパターンデータに、ご自分で「学習情報」を登録させることで精度が上がります。  
「おまかせフィルターでは物足りない」「おまかせフィルターよりもっと高度なフィルタリングがしたい」などの場合には、『学習型フィルター』をご利用ください。
- 個々のユーザーアカウントで学習機能が独立してるので、個々のユーザーアカウント毎に学習させる（迷惑メールのパターンを覚えさせる）必要があります。ドメイン一括学習はできません。
- 『おまかせフィルター』と併用して利用できます。  
『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』は独立した動作をします。  
よって、以下のいずれかの動作が選択できます。
  - ・ 『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』のどちらも利用しない
  - ・ 『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』のどちらも利用する（二重処理）
  - ・ 『おまかせフィルター』を利用し、『学習型フィルター』を利用しない
  - ・ 『おまかせフィルター』を利用しないで『学習型フィルター』を利用する

二重処理にすると、『おまかせフィルター』→『学習型フィルター』の順で処理され、そのどちらかで「これは迷惑メールだ」と判定されたものが、迷惑メールになります。

二重で判定されるため、迷惑メールを認識する確率が上がりますが、場合により通常メールを迷惑メールとして認識してしまうことも多くなります。

## 2-2. 学習型フィルターを設定する

迷惑メールフィルターは初期状態で「おまかせフィルターを強度レベル【中】で使用する」設定になっており、『学習型フィルター』は設定されていません。

『学習型フィルター』を使用する場合は、以下の設定をします。



『おまかせフィルター』と併用して『学習型フィルター』をご利用になれます。詳細は、「2-1 学習型フィルターについて」（12 ページ）をご参照ください。

1. メールアカウントコントロールパネルメニュー『迷惑メールフィルターの設定』の **実行** をクリックします。
2. 「迷惑メールフィルタの設定を変更するユーザーの選択」が表示されます。

(1) 学習型フィルターを設定したいユーザーアカウントをクリックします。

- メール管理者が作成したアカウントが表示されます。作成されたアカウントが一つもないと、何も表示されません。
- 「(all users)」は、ドメイン一括登録ができないため、指定しても設定することはできません。

(2) クリックします。

▶▶▶ 次ページへ

3. 「学習型フィルター」画面が表示されます。

(1)【有】にチェックを入れます。

(2) 迷惑メールの処理方法を指定します。この設定内容は『おまかせフィルター』と共有になります。詳細は「1-3. 迷惑メールの処理について」（8ページ）をご参照ください。

(3) 迷惑メール扱いにたくないメールアドレスを入力します。この設定内容は『おまかせフィルター』と共有になります。詳細は、「1-4 安全リストについて」（10ページ）をご参照ください。

(4) クリックします。

4. 『学習型フィルター』がご利用できるようになりました。設定直後は、弊社提供のパターンデータにて動作します。

▶▶▶ 次ページへ

5. より精度をあげるためには、以下の設定を行います。

**① パターンファイルのアップデートについて**

**② 学習機能について**

**ご注意!**

- ②の項目「学習機能」にてご自身で迷惑メールを学習登録したあとで、①の項目のアップデートを実行すると、先にご自身で登録した②の学習内容が消えてしまいます。以降の説明をよくお読みになり、①のアップデートを実行する際は、十分ご注意ください。
- 迷惑メールを送る側は、さまざまな手段で常にフィルターをかくぐろうとしています。弊社では新たな迷惑メールのパターンが見つかり次第すぐに対応しますが、常にすべての迷惑メールに対応しているわけではありません。あらかじめご了承ください。

① パターンファイルのアップデートについて

最新のパターンファイルで更新させたい場合は、【アップデートする】をクリックします。

- ・ 【アップデートする】を最後にクリックした情報で機能し続けるので、利用する場合には常に記載されている最新情報（アップデート情報日時）を確認してください。
- ・ アップデートを行うと学習機能を登録している場合はその内容が消えてしまいますが、逆に誤った情報を学習させてしまったり、学習などにより精度に影響が出たりした場合などは、このアップデートを実行することで初期化され、再度学習を一からはじめることで精度向上が望めます。

▶▶▶ 次ページへ

## ② 学習機能について

メールソフトで受信したある特定のメールを、「このメールは迷惑メールだ」「このメールは迷惑メールでない通常メールだ」というように、フィルターに学習させます。

フィルターに学習させるためには、特定のメールを一つのファイルとして保存しなおす必要があります。

メールの保存方法についての詳細は、「付録 メール保存方法について」（30 ページ）をご参照ください。

### (1) 保存した該当メールを指定します。

- メール保存方法については「付録 メール保存方法について」（30 ページ）をご参照ください。

### (2) メールをどのように処理するのかを選択します。

#### 【このファイルを迷惑メールとして学習する】

迷惑メールとして学習させる場合に選択します。

#### 【このファイルを通常メールとして学習する】

迷惑メールではない通常メールとして学習させる場合に選択します。

#### 【このファイルを判定する (eml 形式のみ)】

事前に迷惑メール（または通常メール）として学習させていたメール（ファイル）がそれぞれ機能しているかを確認する場合に選択します。

※ 送信経路や送る時間などメール送信時の情報が変わると、同一メールと見なさず結果が一致しないことがあります。

#### ■ このファイルを Unix メールボックス形式として処理する

Unix メールボックス形式で保存したメールを指定する場合にチェックを入れます。

※ Unix メールボックス形式を使うと、複数メールが一括で保存できるので大変便利です。弊社 Web メール等、Unix メールボックス形式が使えるメールソフトをご利用になる必要があります。

### (3) クリックします。

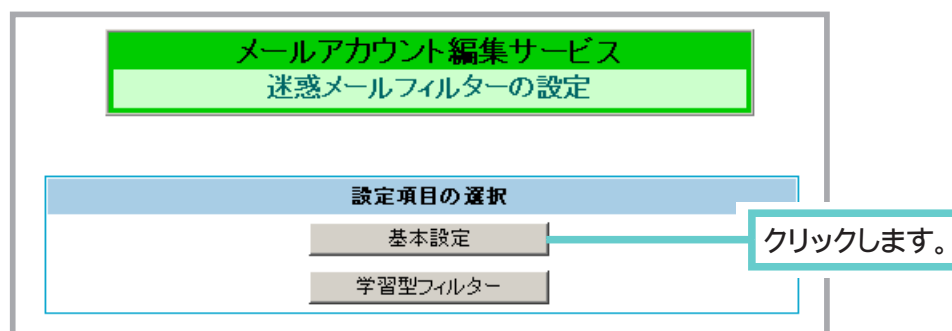
## ■ ユーザーによる設定

### 3. 基本設定

#### 3-1. 迷惑メールフィルターを使用する / 停止する

有料オプションサービス『メールウィルス駆除 EX』をご契約されているドメインのメールは、迷惑メールフィルターは初期状態で『おまかせフィルター』が「使用する」設定となっています。使用を停止したい場合や、再度使用する場合は、以下の設定をします。

1. メールアカウントコントロールパネルメニュー『迷惑メールフィルターの設定』の **実行** をクリックします。
2. 「設定項目の選択」が表示されます。



▶▶▶ 次ページへ

### 3. 「基本設定」画面が表示されます。

(1) おまかせフィルタの初期設定では【中】にチェックが入っています。使用を停止する場合は、【無】にチェックを入れます。

- 通常は【中】でご利用ください。強度レベルについての詳細は、「おまかせフィルタの設定を変更する」(19 ページ) をご参照ください。

基本設定 (suzuki)		
警告！一括設定モードです。全ての有効なアカウントの迷惑メールフィルタを現在のアカウントの設定に関わらず一括で以下の設定に変更します。処理と安全リストも一括設定の対象です。		
おまかせフィルタ		
<input type="radio"/>	無	おまかせフィルタを利用しない
<input type="radio"/>	弱	判定を弱めにする
<input checked="" type="radio"/>	中	標準の判定強度にする [初期値]
<input type="radio"/>	強	判定を強めにする
		設定    リセット

(2) クリックします。

ご注意！



迷惑メールフィルタの利用を停止する場合は、以下の2つの設定が必要です。

- ・上記のおまかせフィルタの設定を「無」にする
- ・『学習型フィルタ』を「利用しない」設定にする  
(※ 学習型フィルタは初期設定では「利用しない」になっています)

詳細は「学習型フィルタを設定する」(26 ページ) をご参照ください。

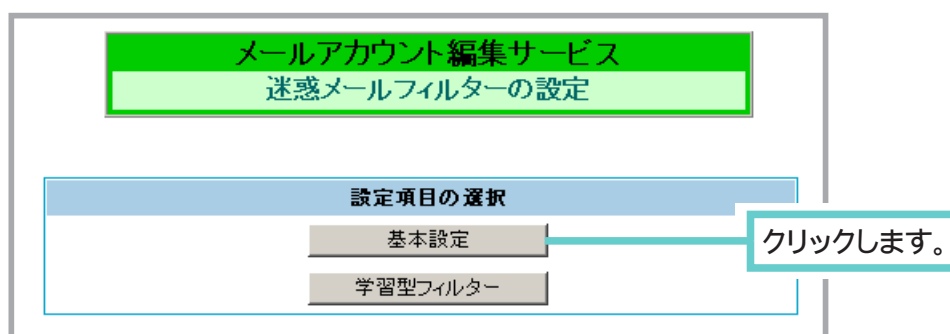
### 4. 設定が完了しました。

## 3-2. おまかせフィルターの設定を変更する

迷惑メールフィルターは、初期状態では「標準の判定強度（中レベル）」で設定されています。通常はこのまま「中」で利用できますが、迷惑メールとして判定されないでフィルターをすり抜けてくるメールが多い場合や、迷惑メールではないのに迷惑メールとして判定されるメールが多すぎる、などという場合には 強度レベルを変更してご利用ください。

1. メールアカウントコントロールパネルメニュー『迷惑メールフィルターの設定』の **実行** をクリックします。

2. 「設定項目の選択」が表示されます。



▶▶▶ 次ページへ

3. 「基本設定」画面が表示されます。

基本設定 (suzuki)

**警告！** 一括設定モードです。全ての有効なアカウントの迷惑メールフィルターを現在のアカウントの設定に関わらず一括で以下の設定に変更します。処理と安全リストも一括設定の対象です。

おまかせフィルター		
<input type="radio"/>	無	おまかせフィルターを利用しない
<input type="radio"/>	弱	判定を弱めにする
<input checked="" type="radio"/>	中	標準の判定強度にする [初期値]
<input type="radio"/>	強	判定を強めにする

設定
リセット

(1) おまかせフィルタの初期設定では【中】にチェックが入っています。用途に応じて設定を変更します。

(2) クリックします。



判定強度レベルについて

※ 画面内のヘルプもあわせてご参照ください。

**【無】** おまかせフィルターを利用しない場合にチェックを入れます。

**【弱】** 弊社にて設定している判定を弱めにします。  
迷惑メールではないのに迷惑メールとして判定されるメールが多すぎる、などという場合に指定します。

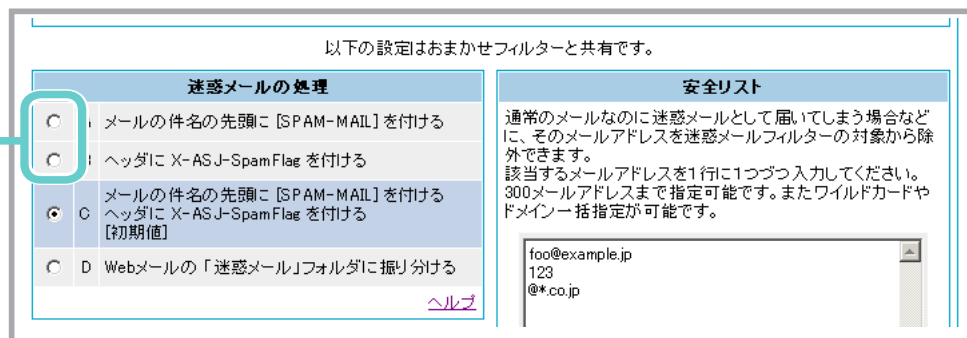
**【中】** 弊社にて設定している、標準レベルの強度です。

**【強】** 迷惑メールとして判定されないでフィルターをすり抜けてくるメールが多いと感じた場合に指定します。  
※ この設定にすると、ダイレクトメールなどの通常メールが迷惑メールであると認識される確率が高くなります。

4. 設定が完了しました。

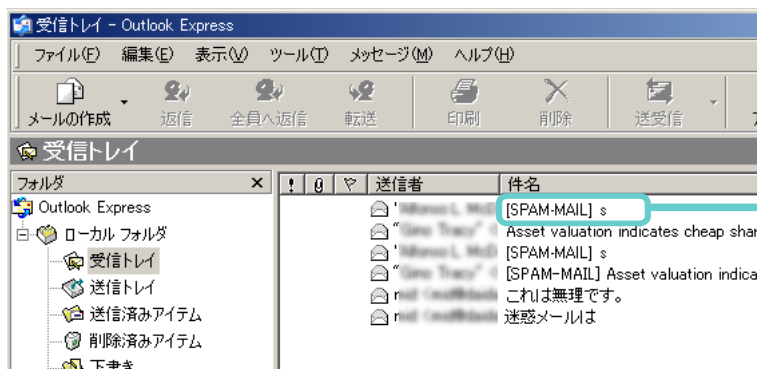
### 3-3. 迷惑メールの処理について

フィルターにより迷惑メールと判定されたメールの処理方法を設定します。  
 迷惑メールと判定されたメールの件名やヘッダーに自動的に文字列がつくので、メールソフトでフォルダに振りわけの際にご利用になれます。  
 この設定内容は『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』で共有します。どちらの画面で設定しても同じ内容で機能します。



#### 【メールの件名の先頭に [SPAM-MAIL] を付ける】

メールのタイトル (Subject、件名) の最初に [SPAM-MAIL] の文字列が追加されます。  
 メールソフトでフォルダに振り分ける際にご利用ください。



【SPAM-MAIL】の文字列が自動的に入ります。

#### 【ヘッダーに X-ASJ-SpamFlag を付ける】

メールのヘッダー情報に X-ASJ-SpamFlag が挿入されます。  
 メールソフトでフォルダに振り分ける際にご利用ください。  
 受信メールが迷惑メールであれば「Yes」、そうでなければ「No」が付きます。  
 【メールの件名の先頭に [SPAM-MAIL] を付ける】より振り分け精度は高くなります。  
 ※ ご利用のメールソフトがヘッダーによる振り分けに対応している必要があります。

X-ASJ-SpamFlag: Yes

このような文字列がヘッダーに自動的に入ります。

以下の設定はおまかせフィルターと共有です。

迷惑メールの処理		安全リスト
<input type="radio"/>	A メール の 件名 の 先頭 に [SPAM-MAIL] を 付ける	通常のメールなのに迷惑メールとして届いてしまう場合などに、そのメールアドレスを迷惑メールフィルターの対象から除外できます。 該当するメールアドレスを1行に1つずつ入力してください。 300メールアドレスまで指定可能です。またワイルドカードやドメイン一括指定が可能です。
<input type="radio"/>	B ヘッダ に X-ASJ-SpamFlag を 付ける	
<input checked="" type="radio"/>	メール の 件名 の 先頭 に [SPAM-MAIL] を 付ける ヘッダ に X-ASJ-SpamFlag を 付ける [初期値]	
<input type="radio"/>	Webメールの「迷惑メール」フォルダに振り分ける	

ヘルプ

foo@example.jp  
 123  
 @\*.co.jp

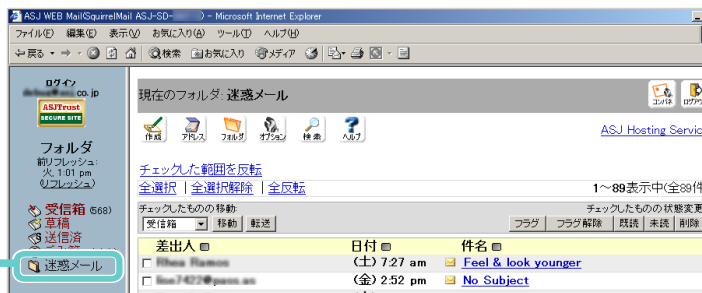
### 【メールの件名の先頭に [SPAM-MAIL] を付ける ヘッダに X-ASJ-SpamFlag を付ける】

メールのタイトル (Subject、件名) の最初に [SPAM-MAIL] の文字列が追加され、かつメールのヘッダー情報に X-ASJ-SpamFlag が挿入されます。  
 ヘッダー情報に受信メールが迷惑メールであれば「Yes」、そうでなければ「No」が付きます。  
 メールソフトでフォルダに振り分ける際にご利用ください。  
 ※ ご利用のメールソフトがヘッダーによる振り分けに対応している必要があります。

### 【Webメールの「迷惑メール」フォルダに振り分ける】

弊社提供の Web メール の 「迷惑メールフォルダ」 に自動的に振り分けます。

迷惑メールは迷惑メールフォルダに自動的に入ります。



- ※ 「迷惑メール」フォルダは、迷惑メールを受信した時点で自動的に作られます。
- 既に「迷惑メール」というフォルダをご自身で作成した場合は、そのフォルダに迷惑メールが入ります。
- \* 「迷惑メール」フォルダは自動的に作られるものなので、サブフォルダには置かないでください。
- ※ 件名やヘッダーには何も追加されません。
- ※ 迷惑メールフォルダ内のメールは 14 日を過ぎると自動的に削除されます。
- ※ HotBiz-OP や HotBiz-mini の Web メールは、この対象となっておりません。

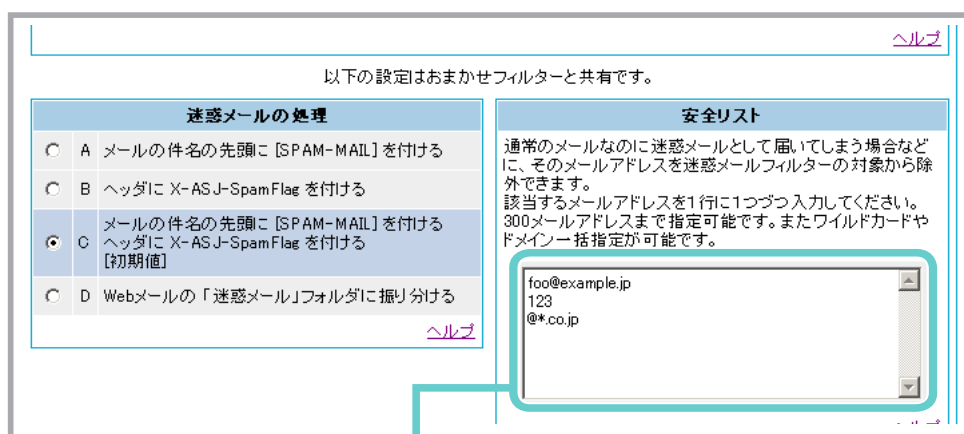


メールソフトでの振り分け方法については、オンラインマニュアル「Outlook Express6 メール振り分け設定方法」をご参照ください。

## 3-4. 安全リストについて

通常メールなのに迷惑メールとして届いてしまう場合など、通常メール扱いにしたいメールアドレスを迷惑メールフィルターの対象から除外する設定が可能です。

この設定内容は『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』で共有します。どちらの画面で設定しても同じ内容で機能します。



該当するメールアドレスを1行に1つずつ入力してください。

### <記述例>

- foo@example.jp : foo@example.jp や 123foo@example.jp などのメールを通常メールと認識します。
- foo : メールアドレス に foo の文字列があれば、通常メールと認識します。
- @example.jp : example.jp のドメイン名のメールを全て通常メールと認識します。
- foo\*bar : foo123bar や foozzbar など、メールアドレス foo と bar が含まれるメールを通常メールと認識します。
- @\*.jp : 最後が .jp で終わる のメールアドレスを通常メールと認識します。
- ???@example : @ の前が 3 文字のメールアドレスで、かつ @example.jp @example.co.jp や @example.com @example.org などを通常メールと認識します。
- =foo@example.jp : foo@example.jp のメールアドレスに完全に一致するもののみ通常メールと認識します。

- 最大 300 メールアドレスまで登録することができます。
- ワイルドカード (\*, ?) やドメイン一括指定 (@で始まるアドレスでの登録) が可能です。フィルターは、From: ヘッダ および Return-Path ヘッダをチェックし、合致すれば安全リストに登録されているアドレスであると認識して迷惑メールリストから除外します。この際、文字列の大文字小文字は区別しません。

メールアドレスを詐称して送られてくる迷惑メールなどがあるので、安全リストに自ドメインやフリーメールなどの詐称されやすいメールアドレスを登録すると精度が著しく落ちる場合があります。

ご注意!





### 誤判定について

『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』は、統計や推定を利用した判定であるため、誤動作はどうしても避けられません。誤判定は二つに分けられます。

#### <すり抜け>

迷惑メールなのに通常メールであると判定されて通ってくるメールです。『学習型フィルター』を利用している場合、学習をご自身ですすめていけば、それらに見合う判定をすることが出来るようになります。

#### <疑陽性>

通常メールなのに迷惑メールとして判定されてしまうメールです。この場合、安全リストで対処してください。この安全リストに登録されているメールアドレスからのメールは『おまかせフィルター』も『学習型フィルター』も判定を行いません。『学習型フィルター』では学習をご自身ですすめていけば、それらに見合う判定をすることが出来ますので、安全リストと併用して調整してください。

## 4. 学習型フィルター

### 4-1. 学習型フィルターについて

『おまかせフィルター』よりも高度な対策を行いたい場合は、『学習型フィルター』をご利用ください。

**ご注意!**

学習型フィルターは、専門的な知識が必要となる上級者向けの機能です。



#### ◆ 特徴 ◆◆◆

- 『学習型フィルター』は「ベイジアンフィルター」と呼ばれている機能で、パターンデータを利用して文面から推測して迷惑メールを判定します。  
初期設定時には弊社から提供している状態のパターンデータにて動作しますが、このパターンデータに、ご自分で「学習情報」を登録させることで精度が上がります。  
「おまかせフィルターでは物足りない」「おまかせフィルターよりもっと高度なフィルタリングがしたい」などの場合には、『学習型フィルター』をご利用ください。
- 『おまかせフィルター』と併用して利用できます。  
『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』は独立した動作をします。  
よって、以下のいずれかの動作が選択できます。
  - ・ 『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』のどちらも利用しない
  - ・ 『おまかせフィルター』と『学習型フィルター』のどちらも利用する（二重処理）
  - ・ 『おまかせフィルター』を利用し、『学習型フィルター』を利用しない
  - ・ 『おまかせフィルター』を利用しないで『学習型フィルター』を利用する

二重処理にすると、『おまかせフィルター』→『学習型フィルター』の順で処理され、そのどちらかで「これは迷惑メールだ」と判定されたものが、迷惑メールになります。

二重で判定されるため、迷惑メールを認識する確率が上がりますが、場合により通常メールを迷惑メールとして認識してしまうことも多くなります。

## 4-2. 学習型フィルターを設定する

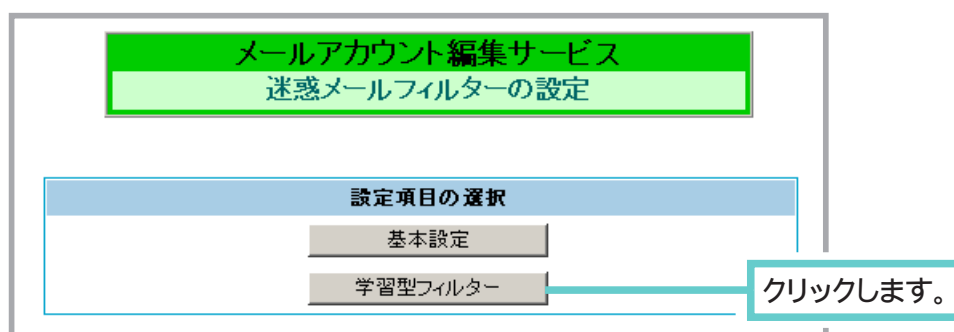
迷惑メールフィルターは初期状態で「おまかせフィルターを強度レベル【中】で使用する」設定になっており、『学習型フィルター』は設定されていません。

『学習型フィルター』を使用する場合は、以下の設定をします。



『おまかせフィルター』と併用して『学習型フィルター』をご利用になれます。詳細は、「4-1 学習型フィルターについて」(25 ページ) をご参照ください。

1. メールアカウントコントロールパネルメニュー『迷惑メールフィルターの設定』の **実行** をクリックします。
2. 「設定項目の選択」が表示されます。



▶▶▶ 次ページへ

### 3. 「学習型フィルター」画面が表示されます。

(1)【有】にチェックを入れます。

(2) 迷惑メールの処理方法を指定します。この設定内容は『おまかせフィルター』と共有になります。詳細は「3-3. 迷惑メールの処理について」(21 ページ)をご参照ください。

(3) 迷惑メール扱いにたくないメールアドレスを入力します。この設定内容は『おまかせフィルター』と共有になります。詳細は、「3-4 安全リストについて」(23 ページ)をご参照ください。

(4) クリックします。

### 4. 『学習型フィルター』がご利用できるようになりました。 設定直後は、弊社提供のパターンデータにて動作します。

▶▶▶ 次ページへ

## 5. より精度をあげるためには、以下の設定を行います。

- ②の項目「学習機能」にてご自身で迷惑メールを学習登録したあとで、①の項目のアップデートを実行すると、先にご自身で登録した②の学習内容が消えてしまいます。以降の説明をよくお読みになり、①のアップデートを実行する際は、十分ご注意ください。**
- 迷惑メールを送る側は、さまざまな手段で常にフィルターをかくぐろうとしています。弊社では新たな迷惑メールのパターンが見つかり次第すぐに対応しますが、常にすべての迷惑メールに対応しているわけではありません。あらかじめご了承ください。**

**ご注意!**



### ① パターンファイルのアップデートについて

最新のパターンファイルで更新させたい場合は、【アップデートする】をクリックします。

- ・【アップデートする】を最後にクリックした情報で機能し続けるので、利用する場合には常に記載されている最新情報（アップデート情報日時）を確認してください。
- ・アップデートを行うと学習機能を登録している場合はその内容が消えてしまいますが、逆に誤った情報を学習させてしまったり、学習などにより精度に影響が出たりした場合などは、このアップデートを実行することで初期化され、再度学習を一からはじめることで精度向上が望めます。

▶▶▶ 次ページへ

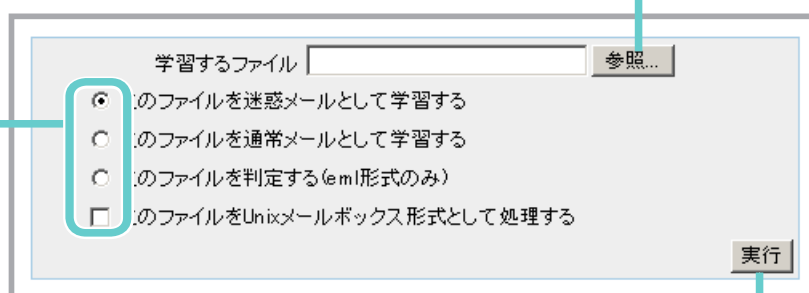
## ② 学習機能について

メールソフトで受信したある特定のメールを、「このメールは迷惑メールだ」「このメールは迷惑メールでない通常メールだ」というように、フィルターに学習させます。

フィルターに学習させるためには、特定のメールを一つのファイルとして保存しなおす必要があります。メールの保存方法についての詳細は、「付録 メール保存方法について」(30 ページ) をご参照ください。

### (1) 保存した該当メールを指定します。

- メール保存方法については「付録 メール保存方法について」(30 ページ) をご参照ください。



### (2) メールをどのように処理するのかを選択します。

#### 【このファイルを迷惑メールとして学習する】

迷惑メールとして学習させる場合に選択します。

#### 【このファイルを通常メールとして学習する】

迷惑メールではない通常メールとして学習させる場合に選択します。

#### 【このファイルを判定する (eml 形式のみ)】

事前に迷惑メール (または通常メール) として学習させていたメール (ファイル) がそれぞれ機能しているかを確認する場合に選択します。

※ 送信経路や送る時間などメール送信時の情報が変わると、同一メールと見なさず結果が一致しないことがあります。

#### ■ このファイルを Unix メールボックス形式として処理する

Unix メールボックス形式で保存したメールを指定する場合にチェックを入れます。

※ Unix メールボックス形式を使うと、複数メールが一括で保存できるので大変便利です。弊社 Web メール等、Unix メールボックス形式が使えるメールソフトをご利用になる必要があります。

### (3) クリックします。

## 付録 メール保存方法について

受信したメールをフィルターに学習させる際、フィルターはメールをファイルとして読み込むので、該当メールはファイル形式で用意する必要があります。

読み込むことができるファイル形式は、以下の2種類です。

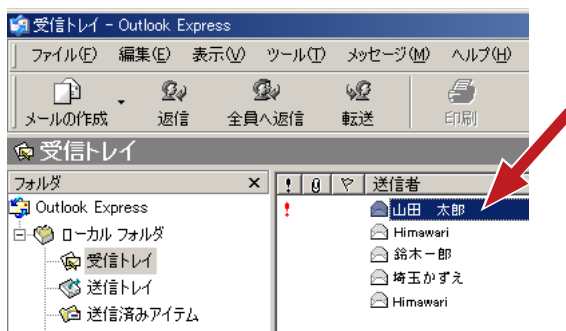
- ・ eml 形式（一通ずつ）
- ・ Unix メールボックス形式（複数メール）
  - ※ Unix メールボックス形式に対応しているメールソフトをご利用の場合はこちらをご利用ください。
  - ※ 弊社 Web メールをご利用の場合は、「オプション」→「メール保管の設定」で、Unix メールボックス形式保存ができます。

### ◆ メールをファイル形式で保存する方法 ◆◆◆

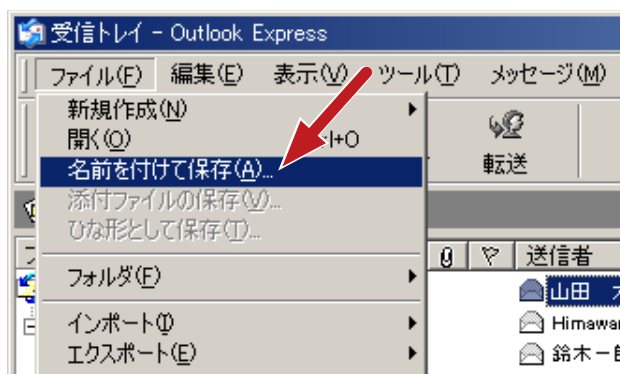
#### ▼ eml 形式で保存する場合

Outlook Express を例に設定手順を解説します。

1. 特定メール（今後、迷惑メールとして扱いたいメールまたは今後通常メールとして扱いたいメール）を選択します。

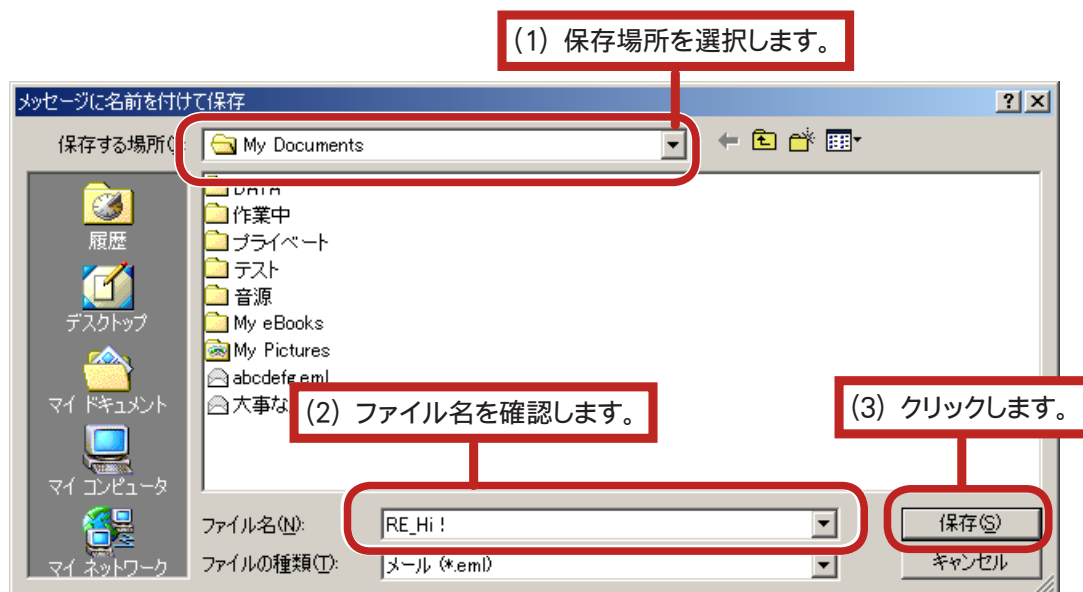


2. メニューバーの【ファイル】－「名前を付けて保存」を選択します。



▶▶▶ 次ページへ

3. [メッセージに名前を付けて保存] 画面が表示されます。

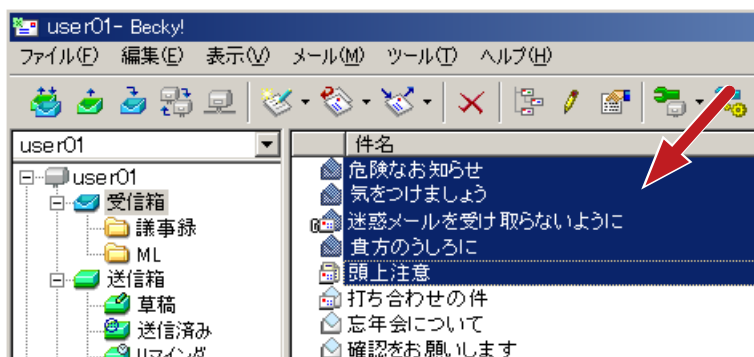


4. eml 形式でメールが保存されました。

#### ▼ Unix メールボックス形式で保存する場合

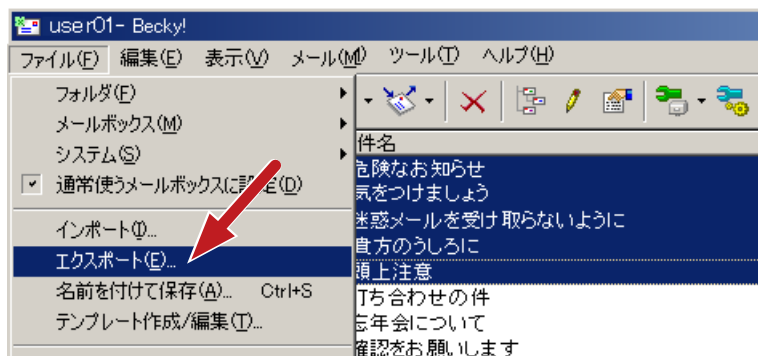
Becky !を例に複数メールを保存する際の設定手順を解説します。

1. 特定メール（今後、迷惑メールとして扱いたいメールまたは今後通常メールとして扱いたいメール）を複数選択します。



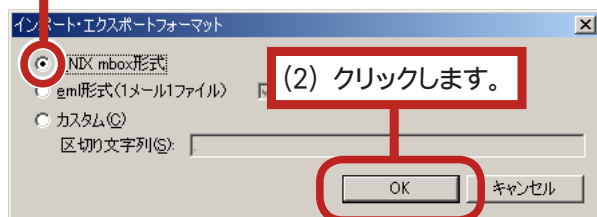
▶▶▶ 次ページへ

2. メニューバーの【ファイル】－「エクスポート」を選択します。

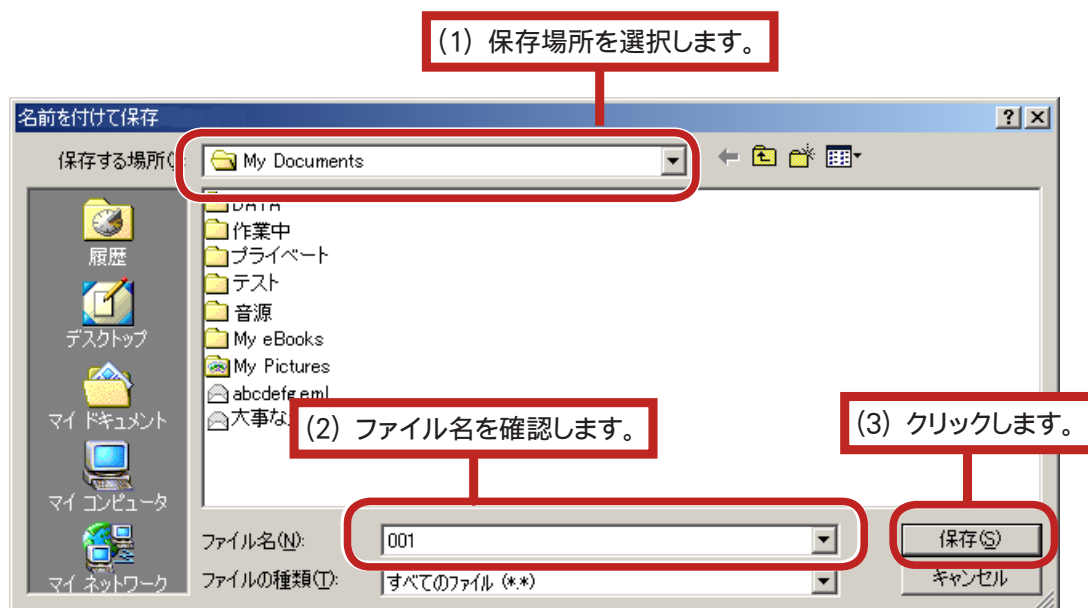


3. 【インポート・エクスポートフォーマット】が表示されます。

(1) 【UNIX mbox 形式】にチェックが入ってることを確認します。



4. 【名前を付けて保存】画面が表示されます。



5. Unix メールボックス形式でメールが保存されました。

# サポートインフォメーション

## サポート専用電話

048-240-2222（土日祝日を除く月～金曜日 午前 9:00～午後6:00）

事前に以下の内容をご確認の上お電話いただければ、より迅速に問題を解決することができます。

- ドメイン名（アルファベットで）
- 接続しているプロバイダ名
- 接続しているパソコン名（メーカーおよび型番）
- OSとバージョン情報
- ブラウザ名とバージョン情報
- エラーメッセージなど具体的な現象

## サポート専用FAX

048-240-1700

※弊社サポートページより専用のファックスフォームをご利用ください。

## フォームメールによるお問い合わせ

弊社サポートページにて随時受付しております。

規定の受付フォーマットに必要事項を入力していただきます。  
ご入力が終わりましたら、最後に「送信」ボタンを押してください。



### ご注意

- お問い合わせは、一回の送信につき一件でお願いいたします。
- ご入力の際は「半角カタカナ」をご使用にならないようにお願いいたします。

## 回答期限

1～3営業日にて回答いたします。  
ただし、お問い合わせの内容によってはそれ以上の日数をいただく場合もございます。  
あらかじめご了承ください。

本サポートはお問い合わせ状況に応じて、事前連絡の上一時中断する場合があります。  
あらかじめご了承ください。



---

株式会社 ASJ

〒 332-0017 埼玉県川口市栄町 3-2-16

<http://www.asj.ad.jp/>

本マニュアルは改良のため予告無しに内容を変更する場合があります。記載内容は2009年3月現在のものです。

---